

- 1 単元名 説明の仕方の工夫を見つけ、話し合おう。～筆者の意図を読もう・見よう・分かつよう～
 (学習材名 「天気を予想する」 光村図書5年)

2 単元構想表

児童の言語活動の既習経験と実態 (説明的文章の解釈に関する指導事項)		
既習の学習材名	知能・技能の習得状況	言語活動
見立てる 生き物は円柱形	本や文章を読んで、筆者の主張や書き方の工夫について考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。(オ)	筆者の主張や書き方の工夫について、文章を読んで考えたこと(賛成、疑問)を発表し合うこと。
<p>説明文は筆者が要旨を伝えるために、構成等の工夫をし、書かれた文章であるということは理解できている。しかし、その工夫の一つである様々な資料(挿絵、写真、表、グラフ)と文章を対応させながら読む経験は乏しい。適切な資料を用意すること、具体的な数値を文章に入れることで、より要旨が伝わるという工夫を知ることで、今後の読書経験や自分の主張を伝える様々な場面で活用できるようにさせたい。</p>		
単元を通して身に付けたい力		評価規準
領域：C読むこと ◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、資料と文章の関係を明確にしなが ら読むこと。(ウ) ○文章を読んで、筆者が自分の考えを伝えるための工夫について考えた ことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。(オ) ・筆者の書きぶりをとらえる力。他者の考えとの違いに気づく力。		◎筆者が自分の主張を伝えるための工夫である、 論の進め方や資料の活用、数値の引用について とらえながら読んでいる。(ウ) ○筆者が自分の考えを伝えるために工夫したこと について、感じたことを交流し、自分の考えを 広げたり深めたりしている。(オ)
学習材の特徴		
中心学習材名「天気を予想する」(光村図書5年) 本教材は、身近でありながら、仕組みは知られていない天気予報を題材にしてい る。筆者の伝えたいことを補強しているのがグラフや表などの資料であり、その資 料の示し方によって印象や伝わり方が変わることにつながるのに適した教材である。 本教材で学習する、筆者の論の進め方や資料の活用の仕方、数値の引用等は、社会 や理科、総合的学習の時間で、自分の考えを伝えるために活用することができ、学 習の広がり期待できる。		補助学習材名 表やグラフ、図、写真とその資料に対応し た文章がのっているテキストを図書館資料 から選定する。
単元を貫く言語活動の設定要素と具体的能力		
単元名 説明の仕方の工夫を見つけ、話し合おう。～筆者の意図を読もう・見よう・分かつよう～ 言語活動：筆者の伝えたいことや、資料を用いた説明の効果について考えてまとめ、交流する活動。 特徴：筆者の主張を伝えるための工夫や文章構成や資料を用いた説明の効果を考えることは、他教科の学習や普段の読 書生活に加え、新聞や広告等、様々な文章の読み方にも応用することができる。 相手：学級の友だち 目的：資料を用いた説明の効果についての考えを発表し合い、他者と比べることで、筆者の伝えたいことや資料を提示 した筆者の意図が分かる。 思い：資料を用いた説明の効果を考え、資料を提示した筆者の意図をとらえたい。自分の主張を相手に伝える際に資料 を用いて書きたい。 能力：要旨を的確に読む力。要旨を証明するための書きぶりをとらえる力。他者の考えとの違いに気付く力。		
思考力育成の手立て		
《考えをもたせるための工夫》 課題を生む教材提示 ・資料があることで、筆者の伝えたいこと がより強く伝わるということに気付くこ とができる文章と資料を提示し、考えさ せることにより課題を設定させる。 考える技能を活用する ・比較～既習の文章と比較させることで文 章構成をつかませる。 考える技能を活用する ・関係づける～資料を提示した筆者の意図 を考えさせるために、表や グラフの数値や図・写真に 付記された言葉に注目させ る。	《考えを表現させるための工夫》 ワークシートの工夫 ・筆者の工夫に気付くために、各段落の役割、 図や写真・表やグラフを提示した筆者の意 図を書き込み、全体的に見渡すことができ る学習シート1にまとめさせる。 ・筆者の工夫が読み手に要旨を伝えるため であるということが分かる学習シート2を用 意し、まとめを書かせる。 交流 ・自分の考えを深めたり、広げたりするた めに、筆者の工夫について交流させる。	《学びの価値付け》 評価(ふりかえり) ・目的に立ち返らせ、単位 時間の学習が単元のゴ ールに活かせることを 実感することができる ように学びの価値付け をする。

3 単元の指導計画（6時間）

★本校研究の手立て

学習過程	学習活動	評価
<p>第一次 見通す</p>	<p>単元の学習の見通しをもとう。</p> <p>○資料があることで、筆者の伝えたいことがより強く伝わるということに気付くことができる文章と資料から、資料の大切さを意識し、学習の見通しをもち、学習計画を立てる。</p> <p>・単元の学習の見通しを具体的にもち、つけたい力を共有する。</p> <p>1 〔 単元の見通し……要旨を伝えるための筆者の工夫に気付き、まとめ、交流し、自分の考えを深めたり広げたりする。 つけたい力…… 筆者が伝えたいこと、論の進め方を明確にする。 資料と文章の関係を明確にしながらか読む。 〕</p> <p>★資料があることで、筆者の伝えたいことがより強く伝わるということに気付くことができる文章と資料を提示し、考えさせることにより課題を設定させる。(考えをもたせるための工夫・課題を生む教材提示)</p> <p>★単元の流れの見通しをもたせるために学習計画を立て、つけたい力・相手意識・目的意識を明確にさせる。(考えをもたせるための工夫)</p>	<p>・単元の見通しをもち、これからの学習に意欲をもっている。</p> <p>【関】 発言・観察</p>
<p>第二次 深める ・まとめ</p>	<p>「天気を予想する」を読み、要旨をまとめよう。</p> <p>○通読し、終わりの段落から要旨をまとめる。</p> <p>・天気予想の現状と私たちが生活していくうえで大切にしていきたいことは何かについて要旨をまとめる。</p> <p>2</p> <p>・まとめた要旨を交流する。</p> <p>・要旨の各文がどの段落に対応しているか調べ、交流する。</p> <p>・説明文とは筆者の考え（要旨）を読み手に伝えるために、様々な工夫をして、書かれた文章であることを確認する。</p> <p>★自分の言葉で端的にまとめようとするを通して思考させる。 (考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</p> <hr/> <p>要旨を伝えるための筆者の工夫について考えよう。～文章構成編～</p> <p>○既習の説明文と比べることで、文章全体の構成をとらえる。</p> <p>・既習の説明文「すがたをかえる大豆」と比べることで、問いと答えのくり返しにより論が展開していることに気付き、そのように論じる筆者の意図について交流する。</p> <p>・問いと答えをくり返し、読者と対話するように説明している筆者の論じかたの効果について学び合う。</p> <p>・学んだことを活かすと、1時で示した例文がどう変わるのか話し合う。</p> <p>3</p> <p>・まとめを学習シート2に書く。</p> <p>★既習の文章と比較させることで文章の構成をつかませる。(考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・比較)</p> <p>★各段落の役割、図や写真・表やグラフを提示した筆者の意図について書き込み、内容全体を整理して見ることができる学習シート1にまとめさせる。(考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</p> <p>★筆者の工夫が読み手に要旨を伝えるためであるということが分かる学習シート2を用意し、まとめを書かせる。(考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</p> <p>★交流させ、類似点や相違点から、筆者の工夫について自分の考えを深</p>	<p>・まとめの段落を活用し要旨をまとめている。</p> <p>【読ウ】 発言・シート</p> <p>・筆者が自分の主張を伝えるための工夫である、論の進め方についてとらえながら読んでいます。</p> <p>【読ウ】 発言・シート</p> <p>・筆者が自分の考えを伝えるための工夫について、感じたことを、交流し、自分の考えを広げたり、深めたりしている。</p> <p>【読オ】 発言・シート</p>

第二 次 深 め る ・ ま と め る 本 時	めたり広げたりさせる。(考えを表現させるための工夫・交流)	
	要旨を伝えるための筆者の工夫について考えよう。～図・写真活用編～	
	4	<p>○教材文を読み、資料（図・写真）を提示した筆者の意図について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの資料（図・写真）を提示した筆者の意図について学習シート1にまとめる。 ・図・写真を提示した筆者の意図について友だちと交流する。 ・文末の3枚の写真を提示した筆者の意図について学び合う。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめを学習シート2に書く。 <p>★資料を提示した筆者の意図を考えさせるために、図・写真に付記された言葉にも注目させる。(考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・多面的に見る)</p> <p>★資料を提示した筆者の意図を学習シート1に、まとめを学習シート2に書かせる。</p> <p>(考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</p> <p>★交流させ、類似点や相違点から自分の考えを深めたり広げたりさせる。(考えを表現させるための工夫・交流)</p>
要旨を伝えるための筆者の工夫について考えよう。～表・グラフ活用編～		
5	<p>○教材文を読み、資料（表・グラフ）を提示した筆者の意図について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの資料（表・グラフ）を提示した筆者の意図について学習シート1にまとめる。 ・表・グラフを提示した筆者の意図について友だちと交流する。 ・5段落に対応するグラフを提示した筆者の意図について学び合う。 ・まとめを学習シート2に書く。 <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめを学習シート2に書く。 <p>★資料を提示した筆者の意図を考えさせるために、表やグラフの数値に注目させる。(考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・多面的に見る)</p> <p>★資料を提示した筆者の意図を学習シート1に、まとめを学習シート2に書かせる。</p> <p>(考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫)</p> <p>★交流させ、類似点や相違点から自分の考えを深めたり広げたりさせる。(考えを表現させるための工夫・交流)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が自分の主張を伝えるための工夫である、資料（表やグラフ）の活用についてとらえながら読んでいる。 【読ウ】発言・シート ・筆者が自分の考えを伝えるための工夫について、感じたことを、交流し、自分の考えを広げたり、深めたりしている。 【読オ】発言・シート
学習したことをまとめ、交流しよう。		
6	<p>○本単元を通して、自分が学んだことをまとめ、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時で示した例文の資料について、どのような資料が適切か話し合う。 <p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習して分かったこと、自分が伝える立場になったとき、二つの観点でまとめ、友だちと交流する。 <p>★交流させ、類似点や相違点から、自分の考えを深めたり広げたりさせる。(考えを表現させるための工夫・交流)</p> <p>★単元を通して、学びの価値やつけたい力についてふりかえりをし、自分の学びが実感できるようにさせる。(学びの価値づけ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習して、分かったこと、学習したことをどう活用するかをまとめ、友だちと交流し、自分の考えを、深めたり広げたりしている。 【読オ】発表・ノート・感想

※並行読書については、学習の初めに、表やグラフ、図、写真とその資料に対応した文章のっている本を紹介し読書を進めていく。

モデル文

「最近、ろうかを走っている人がふえてきました。たくさんの方が走っています。ぶつかってけがをするので、廊下を走るのをやめましょう。」

提示する資料

・誰もいない、真っ直ぐな廊下の写真、一日分の走った人を学年ごとに表したグラフ。

ふさわしいと思われる資料

・危険な場所で人のいる写真・走っている人が増えてきていることが分かるグラフ。